

(別 添)

令和4年度

施工パッケージ型積算方式標準単価表
(施設機械)

(令和4年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している
工事から適用)

農林水産省

【補足】施工パッケージ型積算方式標準単価表の見方

施工パッケージ型積算方式標準単価表（以下「単価表」という。）は施工パッケージ単位でとりまとめている。単価表に記載されている用語の定義は以下のとおりです。

■条件区分

施工パッケージ型積算基準に定められた、各施工パッケージの積算条件区分一覧における条件区分です。

■標準単価

各条件区分に対応した、東京地区（東京 17 区）における基準年月（令和 4 年度版の基準年月は令和 3 年 4 月）の施工単位当りの単価（円）です。この標準単価を基に地区や年月等の補正を行い「積算単価」を算出します。

■機労材構成比

標準単価に対する機械経費（K）、労務費（R）、材料費（Z）、市場単価（S）の金額構成比率です。

なお、K、R、Z は機械経費、労務費、材料費それぞれの合計金額構成比率であり、K1～K3、R1～R4、Z1～Z4、S は各代表的な規格の金額構成比率です。また、各合計金額構成比率（K、R、Z）は代表的な規格以外の金額も含むため、K1～K3、R1～R4、Z1～Z4 の合計が K、R、Z と一致しない場合があります。

■代表機労材規格

「機労材構成比」で代表的な規格の金額構成比率を示した機械経費、労務費、材料費、市場単価の具体的な規格名称です。ただし、コンクリートやアスファルト等の材料規格については、最も代表的な材料規格のみを示しています。

留意事項

単価表には、補正に使用する機械経費、労務単価、材料単価は記載していません。これらの単価等は土地改良事業等請負工事積算基準の定めにより下記のとおりとなります。

機械経費：土地改良事業等請負工事機械経費算定基準

労務単価：公共工事設計労務単価

材料単価：設計材料単価

1. 補正式

標準単価は、東京地区（東京 17 区）における基準年月の施工単位当たりの単価であることから、地域及び時期の違いによる補正を行い、積算単価にします。

標準単価（P）から積算単価（P'）への補正は、各施工パッケージの機労材構成比を用い、下記の式により算出します。

$$\begin{aligned}
 P' = P \times & \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \dots + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \right] \times \frac{Kr}{K1r+\dots+K3r} \right. \\
 & + \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \dots + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right] \times \frac{Rr}{R1r+\dots+R4r} \\
 & + \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \dots + \frac{Z4r}{100} \times \frac{Z4t'}{Z4t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r+\dots+Z4r} + \frac{Sr}{100} \times \frac{St'}{St} \\
 & \left. + \frac{100-Kr-Rr-Zr-Sr}{100} \right\}
 \end{aligned}$$

P'	: 積算単価（積算地区、積算年月）
P	: 標準単価（東京地区、基準年月）
Kr	: 標準単価における全機械（K1～K3、他）の構成比合計
K1r～K3r	: 標準単価における代表機械規格K1～3の構成比
K1t～K3t	: 代表機械規格K1～3の単価（東京地区、基準年月）
K1t'～K3t'	: 代表機械規格K1～3の単価（積算地区、積算年月）
Rr	: 標準単価における全労務（R1～R4、他）の構成比合計
R1r～R4r	: 標準単価における代表労務規格R1～4の構成比
R1t～R4t	: 代表労務規格R1～4の単価（東京地区、基準年月）
R1t'～R4t'	: 代表労務規格R1～4の単価（積算地区、積算年月）
Zr	: 標準単価における全材料（Z1～Z4、他）の構成比合計
Z1r～Z4r	: 標準単価における代表材料規格Z1～4の構成比
Z1t～Z4t	: 代表材料規格Z1～4の単価（東京地区、基準年月）
Z1t'～Z4t'	: 代表材料規格Z1～4の単価（積算地区、積算年月）
Sr	: 標準単価における市場単価Sの構成比
St	: 市場単価Sの所与条件における単価（東京地区、基準年月）
St'	: 市場単価Sの所与条件における単価（積算地区、積算年月）

標準単価から積算単価への補正方法は、地域及び時期の違いによる補正（下記①）に加え、下記②～⑤の補正が必要な場合があります。

- ① 地域及び時期の違いによる補正
- ② 条件区分に定めのない規格により積算する場合
- ③ 条件区分に実数入力を行い積算する場合
- ④ 時間外割増賃金や豪雪地域補正等を行う場合
- ⑤ 支給品がある場合

施工パッケージ 標準単価(施設機械) 一覧

No.	施工パッケージ名称	ページ	施工パッケージ型積算基準	備考
001	橋梁用高欄	1	橋梁付属施設設置工	
002	型枠(鋼橋床版)	2	鋼橋床版工	
003	養生(鋼橋床版)	3	鋼橋床版工	
004	コンクリートアンカーボルト設置	4	橋梁排水管設置工	
005	排水管設置	5	橋梁排水管設置工	

No.001【 橋梁用高欄 】

< 積算単位：m >

条件区分 設置方法	標準単価	機材構成比														代表機材規格												備考
		K				R				Z				S	K (*印:賃料)			R				Z				S		
		K1	K2	K3		R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4		K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4			
組立式	46,970	0.00	-	-	-	7.15	5.51	1.62	-	92.85	92.85	-	-	-	-	-	-	普通作業員	土木一般世話役	-	-	高欄(鋼製) B種 丸・縦棧型 ビー ム数3本 高さ 1,000mm スパン 2.0m めっき	-	-	-	-	-	
一体式	4,190.9	5.72	5.72	-	-	92.41	61.87	18.25	11.97	1.87	1.87	-	-	トラック [クレーン装置 付] ベーストラック4~ 4.5t積 吊能力2.9t	-	-	-	普通作業員	土木一般世話役	運転手(特殊)	-	軽油 1.2号 バトロール給油	-	-	-	-	-	

No.004【 コンクリートアンカーボルト設置 】

< 積算単位：本 >

条件区分	標準単価	機材構成比														代表機材規格											備考			
		K				R				Z				S	K (*印:賃料)			R				Z				S				
		K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	K1		K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4						
無し	1,508.7	20.85	20.85	-	-	70.55	22.96	21.19	13.52	11.45	8.60	5.76	2.67	-	-	高所作業車 トラック架装 リフト・ブーム型・幅広 デッキタイプ 作業床高さ 10~12m未満 *	-	-	-	特殊作業員	運転手 (特殊)	土木一般世話役	普通作業員	あと施工アンカー 芯棒打込み式 M 12	軽油 1.2号 バトロール給油	-	-	-	-	-
有り	1,291.1	0.00	-	-	-	93.14	47.86	21.74	21.72	-	6.86	6.73	-	-	-	-	-	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	あと施工アンカー 芯棒打込み式 M 12	-	-	-	-	-	-	-

No.005【 排水管設置 】

< 積算単位：m >

条件区分	標準単価	機材構成比														代表機材規格												備考		
		K				R				Z				S	K (*印:賃料)			R				Z				S				
		K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	S	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	S					
無し	5,440.7	20.01	20.01	-	-	77.43	25.00	20.34	15.93	15.88	2.56	2.56	-	-	-	高所作業車 トラック架装 リフト・ブーム型・幅広 デッキタイプ 作業床高さ 10~12m未満 *	-	-	-	特殊作業員	運転手(特殊)	土木一般世話役	普通作業員	軽油 1.2号 バトロール給油	-	-	-	-	-	-
有り	4,550.7	0.00	-	-	-	100.00	48.32	29.90	21.29	-	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	特殊作業員	普通作業員	土木一般世話役	-	-	-	-	-	-	-	-